

Q. この整備計画にアーティストや文化行政の専門家は参加していますか？

A. 計画の検討にあたっては、市文化振興財団や民間のホール運営事業者に関わっていただいているほか、劇場建築に造詣の深い学識経験者にも参加いただいております。また、ホールの設計等にあたっては、音響や照明、舞台機構等の専門事業者にも協力いただいております。

Q.1 府外在住者です。とても魅力的な公共建築でとてもうらやましく思います。ここまで、どのような検討があり、住民参加の計画作成があったのか、非常に興味があります。何年かけて検討をすすめてきたのか？その中でstudio-Lさんが大きく関わってこられたかと思いますが、こういった経緯で関わることになったのかをお聞きたいです。

Q.2 ここまでの計画に、何年かけてこられたのでしょうか？

A. 2016年（平成28年）に開催した「100人会議」を皮切りに、ワークショップや社会実験を繰り返しながら、基本構想、基本計画、事業者募集と、ここまでおよそ4年間かけて進めてきました。

studio-Lさんには、本シンポジウムのほか、今年度実施の「新施設と広場をつくるワークショップ」などについて、本年から関わっていただいております。

Q. ホールのスペックについて伺いたいです

A. 大ホールは1,200席程度の2階層構成を予定しています。また、シューボックス型、平土間型として利用ができる245席程度の多目的ホールも整備する予定です。

Q. 建築や用途のコンセプトは本当に素晴らしいと思います。私は茨木市在住者ですが、道路の混雑に辟易しています。このような素晴らしい施設が市内の交通のど真ん中に集中することで更に交通渋滞がひどくなるのではと心配します。駐車場を含めて渋滞についての検討はされましたでしょうか？

A. 施設に付帯する駐車場は、関係者用及び障がい者用のみとし、一般の方には中央公園地下駐車場をご利用いただく計画としています。

Q. みんな自転車で行くんでしょうね。駐輪場足りるのでしょうか？岩倉公園の駐輪場が溢れているのをよく見るので心配です…

A. 施設内外に約400台分の駐輪スペースを設置する予定としています。

Q. 魅力的な施設とみられますが、野球やテニスなどができるところがなくなりました、非常に残念でした！それについて、今後どう対応されますか。

A. 工事期間中、グラウンド利用に制限を設けており、ご不便をおかけしています。

なお、北グラウンド拡充工事は、12月頃に完了予定で、整備後はこれまでの南北グラウンドの合計に近い広さが使えるようになる予定です。また、テニスコートについても、新たな整備を検討しています。

Q. 高槻現代劇場みたいに、有名アーティストを沢山呼ばないと元を取れない。

A. ホールの興行的利用には、最低1,500席は必要と言われております。しかし、市民が使うサイズとしては、1,500席は「空席が目立つ」、「利用料が高い」など、使いにくい可能性があります。

本市では、興行利用より市民利用を優先したホールとして1,200席を計画しており、興行利用は難しいと考えております。

Q. 久先生が市民が使っていくと言うのを信じていたことがあったんですが、結局は誰かがきちんとディレクションしたりファシリテートしないと、自然にしているだけでは、これだけあらゆるものがある時代に、またどこもそういうことを言い出している中で、この場所を使ってもらうということはかなり難しいことだということを感じました。その部分いかがでしょうか？

A. 施設完成後、すぐに「使う」がスタートできるように、整備過程から「使い方」を想定したワークショップ（「新施設と広場をつくるワークショップ」）を実施しています。

なお、第一回は7月26日に開催しました。

Q. 緑の多い空間で素敵だと思う反面、それらを含む施設の維持管理費用はどれくらい必要なかとも思います。

A. 今後、管理運営計画の検討において概算を算出したいと思います。

Q.1 これができたら、周辺の中条図書館、生涯学習センター、クリエイティブセンター、ローズWAMなどの存続はどうなるか、気になります！

Q.2 後から「市民会館跡地にいいのができたから古いのは廃止ね」って言われるのはいや。

A. 中条図書館、子育て支援センター、市民活動センターは新施設に移転します。福祉文化会館は、水道部、社会福祉協議会等が、空いた合同庁舎に移転し、耐震性の課題等から、解体する予定です。

このほか、新施設建設に併せて、公共施設の再配置、最適化を図る予定としています。

Q. 立命館大阪いばらきキャンパスにもホールがありますが、どの様に共存していく予定ですか？

A. 立命館いばらきフューチャープラザ グランドホールと新施設では、ホールとしての仕様が異なる点も多く、演目や利用形態によって使い分けされながら両立できるものと考えております。

Q.1 一階に電源があるようでしたが、浸水とか大丈夫ですか？

Q.2 また、一階が道よりも低いですが、最近の豪雨による水の侵入対策は？

A. 1階床レベルについて、ハザードマップの浸水レベルである500mm以上（800mm）で確保するほか、重要機器や電気設備を2階以上に設置することで、水害に備えます。また、地下階を設けないことで、浸水リスクを最小限に抑える計画としています。

Q.1 市民会館のネーミングってこのままですか？？なんかもっといい愛称考えましょう！！

Q.2 会館のロゴとかネーミングとか考えたいです！

Q.3 まだまだ、『市民が』って言えないのが現状だと思う。オリンピックのゆるキャラ決める時みたいに、一般の方に決めてもらわないと。

A. 今後、愛称募集等を行いたいと考えています。その際にはぜひご参加ください。

Q. 茨木市羨ましいという話出てましたが、関西は同様に会館建設が続いています。堺、宝塚、姫路、東大阪、北摂でいえば、豊中、枚方、箕面なども。千名を超える大ホールを有する会館も多くあります。千名以上を集客するしないのもの、それも日々ということではかなりのハードル。大阪市、神戸、京都なども合わせるとこの郊外に1000名を超えるホールが本当にこの地に必要というところ、その辺りはどういかがでしょうか？

A. ホール規模については、基本計画策定時に、さまざまな団体からヒアリング等を行いながら検討を行いました。音楽関係団体等では800席程度の中ホールを臨む声がある一方で、小中学校関係では1,000席以上を望む声が多いなど、希望にはバラつきがあったことから、1階のみなら800席程度の中ホールとして、2階席も使えば1,200席程度の大ホールとして、さまざまな利用形態に対応できるサイズのホール計画としています。